

* 乗鞍コロナ観測所の10cm コロナグラフの展示模型收藏

乗鞍コロナ観測所が2009年度で観測を終了し、閉所作業が進んでいる。その作業の最終段階が9月14日から行われており、筆者が三鷹に搬送を頼んでいた「10cm コロナグラフの展示模型」が9月16日に届いた。乗鞍コロナ観測所では見学スペースに置かれていたなかなか見事な1/8模型である(写真1)。



写真1 10cm コロナグラフの1/8 模型

この模型は1950年に設置された対物レンズの直径(口径)が10cmのコロナグラフの模型で、観測終了まで用いられていたものと案内板に書かれている。この模型はガラスケースがついていたが、輸送で割れるということでガラスケースは帰ってこなかった。

乗鞍コロナ観測所は、中部山岳国立公園の中にあり、乗鞍岳(標高3026m)の峰の一つである標高2872mの摩利支天岳の頂上に設置されていた。冬季は非常に厳しい天候であるから、観測所員がいなくなった観測所へのアクセスは容易ではなくなる。そのためアーカイブ室では今回の閉所作業最終の機会にできるだけのものを収集しようとした。昨年で観測

を終了した観測所には、閉所作業のため、2週間おきくらいに4、5日の作業のため観測所員が滞在し、冬季に結露した湿気を懸命に乾燥させようとしたが、漏電のため遂に動力は十分には回復しないまま閉所作業を終えようとしている。

アーカイブ室の貴重な歴史的遺産の蒐集、収蔵には最後の閉所作業をする観測所員に大変お世話になった。この10cm コロナグラフ収蔵が恐らく乗鞍から持ち帰る最後になるだろう。最後に乗鞍コロナ観測所の美しい景色を載せておきたい(写真2)。



写真2 北アルプスの山々をバックに乗鞍コロナ観測所

写真2の右のスリットが開いた白いドームが25cm コロナグラフのドームであり、左の小さいドームが10cm コロナグラフのドームである。25cm コロナグラフドームの右には槍ヶ岳が見える。この厳しい環境に負けず頑張った観測所もついに閉所された。